広報 かわにし

（毎月10日発行）

平成2年 12/10 No.388

〒948－01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地（TEL 0257－68－3111 FAX 0257－68－3828）

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

人口の動き
―12月1日現在―

男	4,472	(0)
女	4,510	(+7)
計	8,982	(+7)
世帯数	2,228	(−1)

（）は前月比較

「わ～、千歳アメだ」
七五三の祝い

11月15日、仙田保育園（園児数26人）で、七五三の祝いがありました。

雨の降るあいにくの天候でしたが、近くの渋海神社にお参りできました。保育園に戻って、園児が一人ひとり千歳アメの入った袋をもらいました。

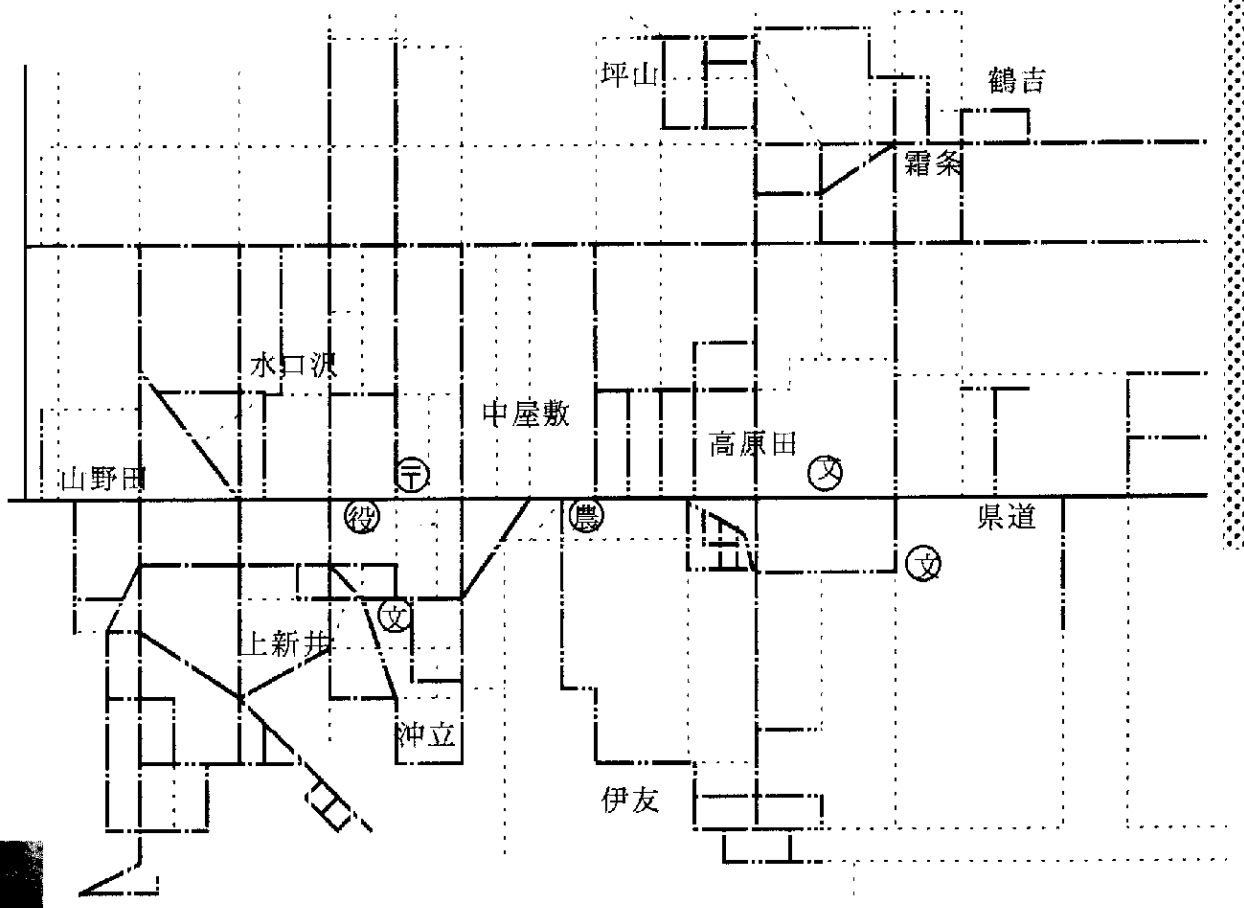
保母さんの「神社で何をお祈りしてきましたか」という質問に、だれですか「オネショをしないように」といったのは。

休日救急医

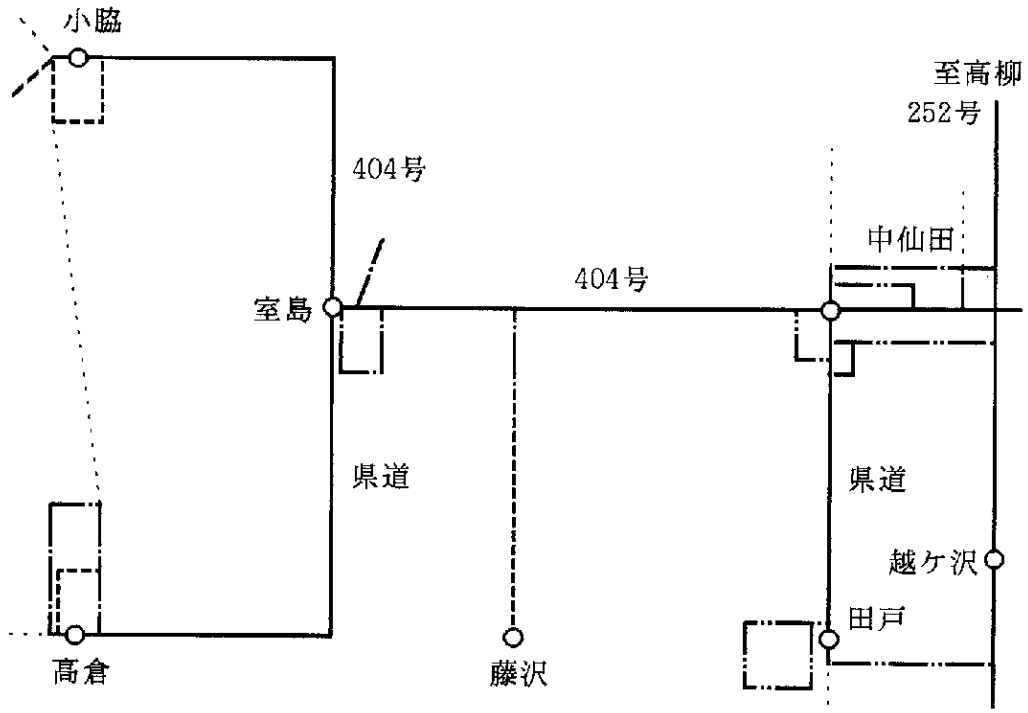
12月16日	山口医院	(下条)	☎55－2003
23日	中条病院	(中条)	☎57－3018
24日	山口医院	(袋町)	☎52－2174
29日	庭野医院	(寿町)	☎52－2711
30日	池田医院	(本町西)	☎52－2581
31日	大島医院	(川原町)	☎52－2957
1月 1日	大坪医院	(四日町)	☎57－6100
2日	山口医院	(下条)	☎55－2003
3日	富田医院	(神明町)	☎52－3269
6日	千手診療所	(中央町)	☎68－2034

今冬の除雪計画まとまる

除雪路線（千手）



除雪路線（仙田南）



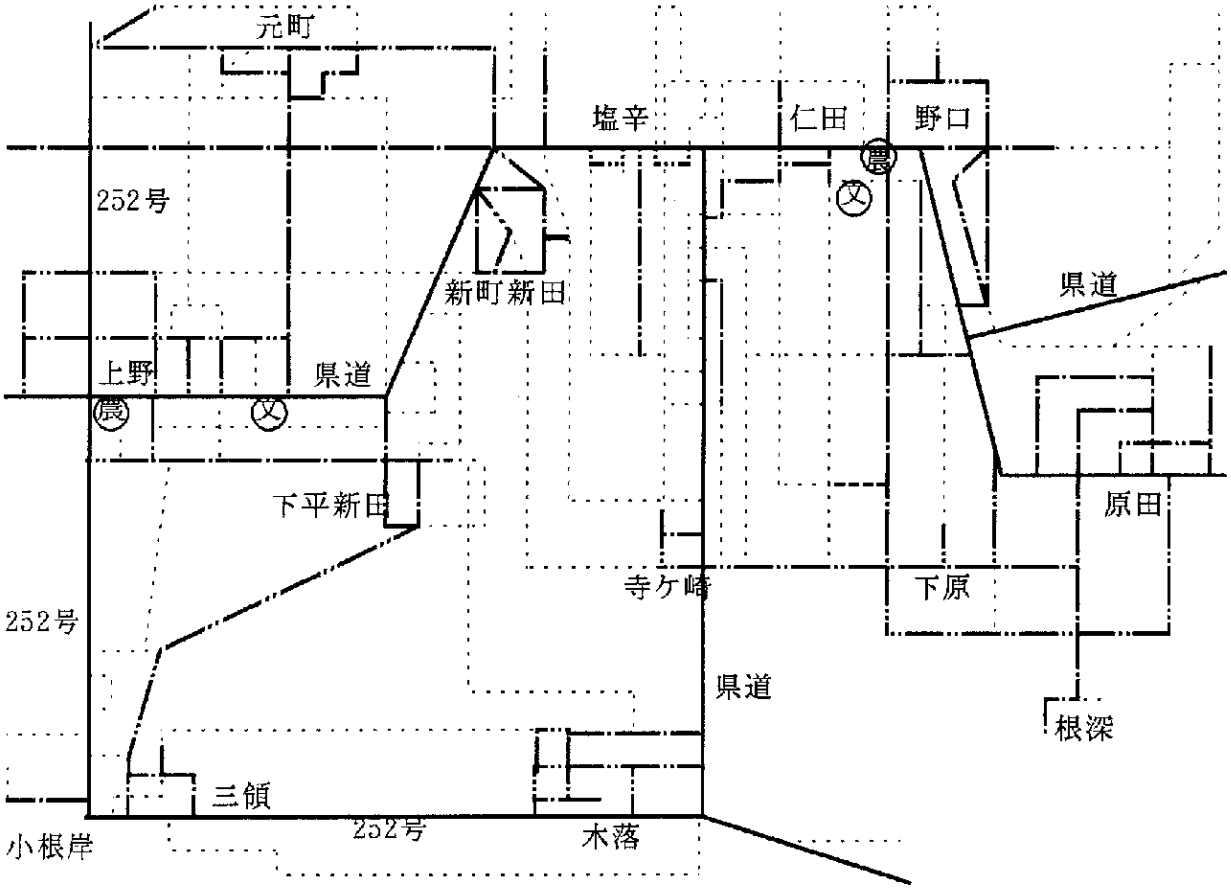
平成二年度の除雪事業は、前年度に引き続いて、除雪が可能となった路線を新規に組み入れ、消雪パイプ、消融雪施設を有効に活用し、機械除雪を主体に実施します。

国県道では〇・七キロ、町道では一・四キロ除雪延長が延び、消雪パイプによる延長も〇・六キロ増えました。

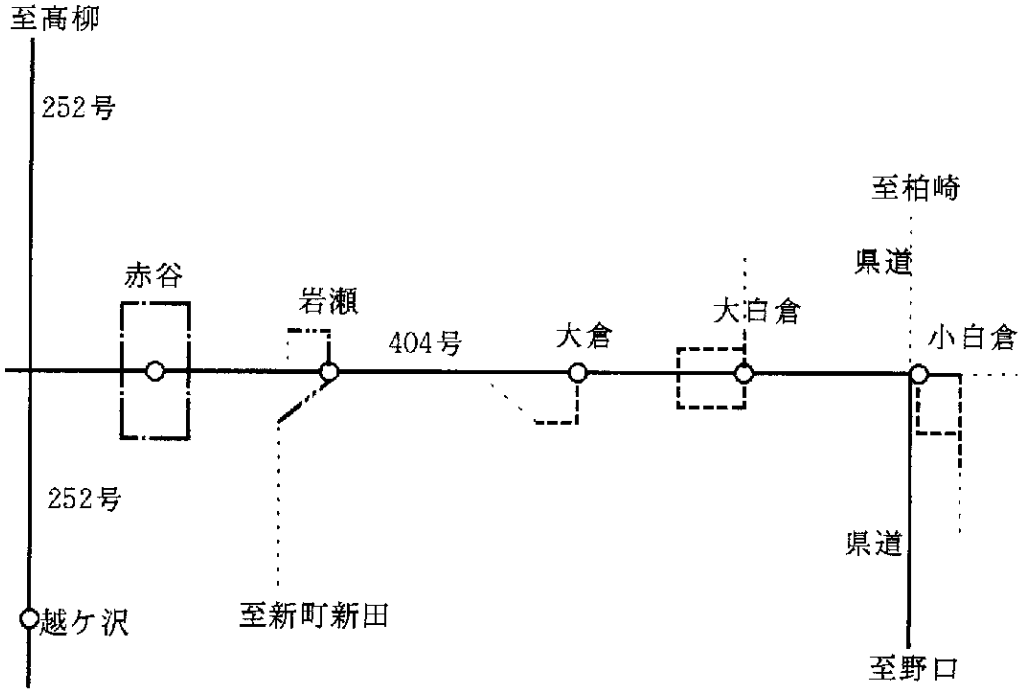
また、本年度から新しく、小千谷十日町津南線（千手・上野地内）の歩道二キロメートルが除雪されます。

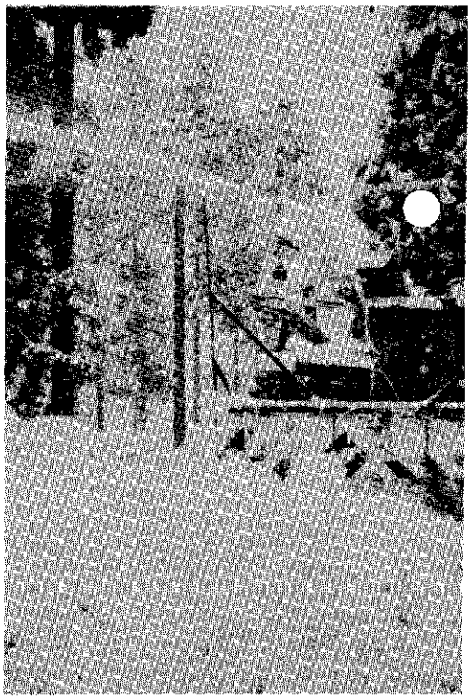
国県　第一種　第二種　圧雪　非除雪

除雪路線（上野・懸）



除雪路線（仙田北）



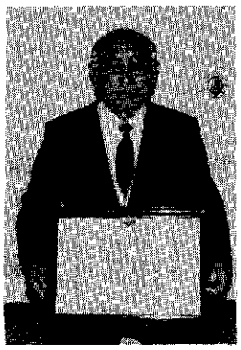


平成元年の除雪作業　－坪山－

〔注〕　第一種路線 ― 2車線または1車線の幅員確保を目標

第二種路線 ― 1車線確保を原則とし、場合によっては一時交通不能になる。

調停委員として活躍
清水さんに裁判所長表彰



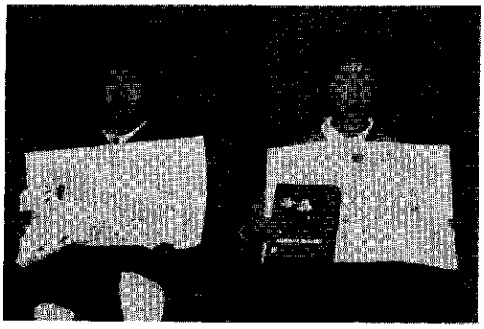
昭和五十七年四月から、民事調停委員と家事調停委員として活躍されている清水朝次さん(下平新田69歳)が、十月三十日、新潟地方裁判所長から表彰されました。

現在、十日町簡易裁判所管内では十四人の調停委員がおり、今回、その中でお二人が受賞しました。

清水さんは、「私どもの仕事は、裁判になるまでに、話し合いで解決ができるようにお手伝いしてやることです。

月に五、六回も調停に出向いたり、一年かかった事例もありました。一件一件真剣勝負で、話し合いでお互いを納得させることに苦労しています。」と語ってくれました。

県知事賞おめでとう
統計グラフコンクール大会



受賞した増田君(右)と登坂さん

平成二年度新潟県統計グラフコンクール第一部(小学校三年生以下)の部門で、仙田小学校一年の増田敬介君と登坂春菜さん(一年)の合同作品『おさけっておいしい?』が県知事賞に輝きました。

十二月五日、県民会館において、その授賞式がありました。

春菜さんが絵と文字を担当し、敬介君が色塗りを担当しました。二人とも授賞式直後で疲れていたせいか、言葉少なに「大変うれしいです」と、受賞の感想を話してくれました。

おら町はどうなる
中魚沼サミット

十二月十日、津南町文化センターで、「おら町・おら村はどうなる!」をテーマに、第一回中魚沼サミットが開かれました。

これは、上村憲司県議の呼びかけで三町村の商工会青年部が実行委員会を組織し、開催したものです。

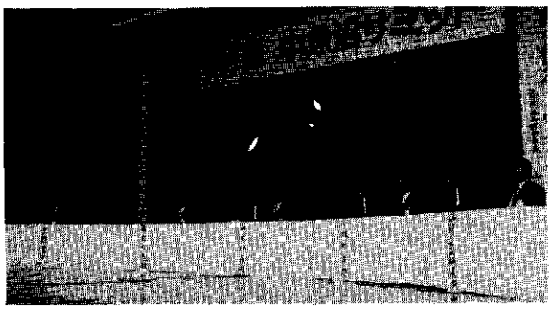
約六百人の聴衆を前に、県企画調整部長・山崎市郎さんが講演し、「地方自治は国との関係なくして考えられない。しかし自ら考え自ら実行する時代に着実に移って来ている。さらに広域的に結び合うことが大切だ。」と述べ、こういうサミットは、意義深いものだと結びました。

次いで、上村県議の司会で三町村の首長らによるパネルディスカッションがありました。

農業問題や商業の活性化、注目を集めているリゾート関連の動向。話題性に富むことがらが多いだけに、三町村のそれぞれの置かれた立場から、現在の状況や将来の展望などが熱っぽく語られ、会場を埋めた聴衆も真剣に聞き入っていました。

この中で、南雲町長は、町政における基本理念やコメを中心にした川西町の農業、十日町市を含めた商業圏の動向など、過去の実績をふまえながら語り、町の独自性をアピールしました。

主催者側では、国際化、情報化に対応し、より広い結びつきを強めるため、今後もこのような催しを開催したいと話していました。



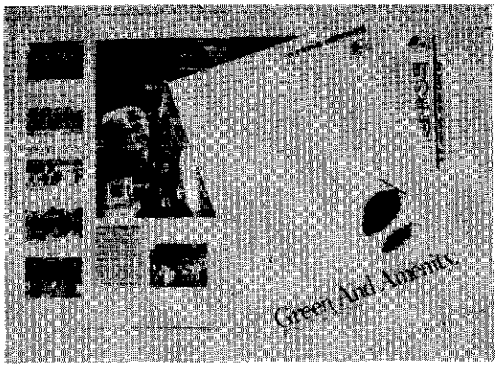
郡内の三町村長が一堂に会してのパネルディスカッション

町勢要覧
切手210円でお送りします

すでに、町内全世帯にはお配りしたとおり、写真を主体とした平成二年版町勢要覧が出来ました。町外のみなさんでご希望の方は、左の送料(切手)を同封のうえ、お申し込み下さい。

また、町内でさらにご希望の方は、役場へお越しくだされば いつでもお上げします。

一部	二一〇円
二~三部	二六〇円
三~五部	三一〇円



多彩な催し 秋を楽しむ

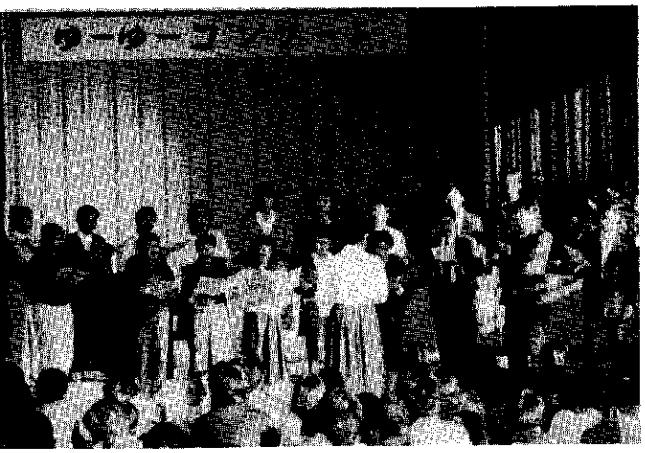
十一月十日、十一日の二日間、総合センターほか二会場で、第一回町民文化祭・かわにし'90」が開かれました。

町と実行委員会が中心となり、講演会、美術展、コンサートなど多彩な催しを実施。およそ千人が芸術の秋・文化の秋を楽しみました。

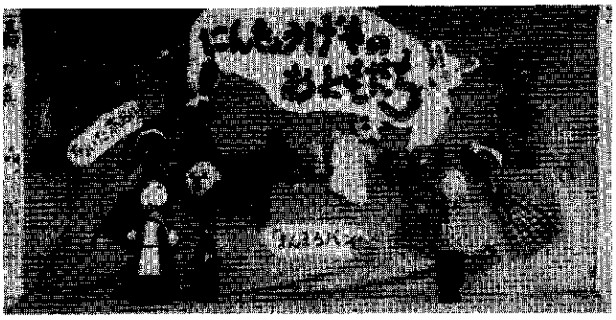
オープニングセレモニーの席上、県自作教材ビデオコンクールで一位になった、「赤谷大ケヤキの四季」高橋直人さん（赤谷37歳）に表彰状の伝達がありました。

主会場となった総合センターでは町美術展、公民館作品展や「夢フライト事業作品展」、一日作ビデオ上映会」が実施され、一日間でおよそ五百人が訪れました。

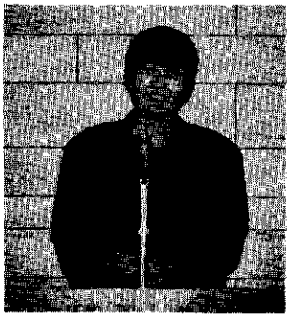
また、川西コンサート協会主催の「ゆーゆーコンサート」や、読み聞かせの会「ふきのとう」による「人形劇・三枚のお札」も大盛況で、多くの人たちがこの催しを満喫しました。



「ゆーゆーコンサート」町の愛好家による合唱

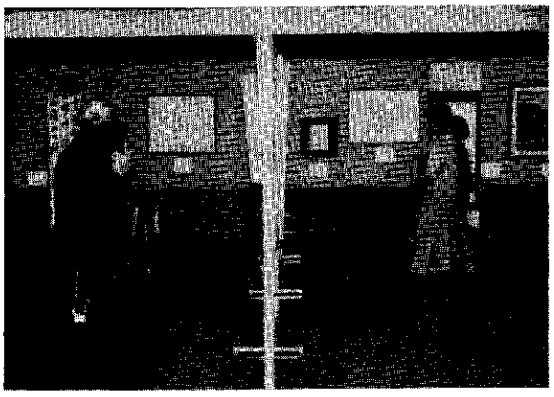


総合センター玄関に展示された人形劇の主人公たち



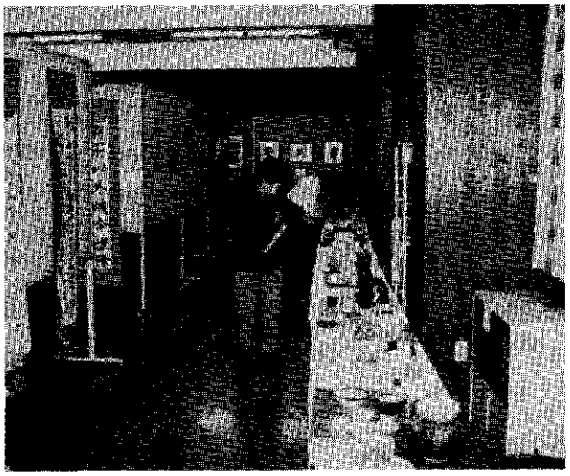
▶作家向井承子さんの講演

保坂公民館長から表彰状を伝達される高橋さん



夫婦そろって鑑賞する姿も見えました

婦人学級リフォームソーイングコースの展示場



焼物教室、27人が出展しました

作品一つひとつを食い入るように

夢・フライト事業

絵画・作文コンクール

入賞作品紹介 -1-

（敬称略）

千手小二年一組学級作品
「川西いろはカルタ」

きれいなかわにし

仙田小　一年　高橋　咲子

わたしは、二がっき、ながおかのあらまちしょうがっこうから、せんだしょうがっこうにきました。

ながおかは、くるまとかいえとかがたくさんあって、ごちゃごちゃしたところです。でも、せんだにきたら、たんぼとか、山とかがたくさんあって、びっくりしました。

こっちにきたら、いきなり、へりこぷたあにのれたので、とてもうれしかったです。

「くるまがみえるよ。」「いえもおもちゃみたい。」と、みんながいいました。

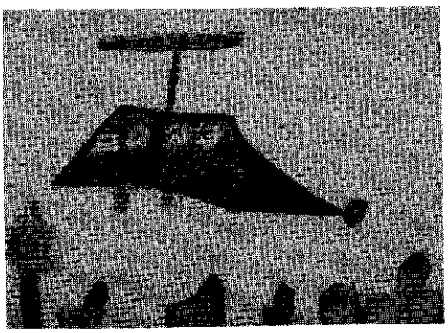
わたしも、じぶんのうちをさがしました。こんどのうちは、あかたににあります。いっしょうけんめいさがしたけど、よくわからなかったので、ざんねんでした。

こんどのるときには、すぐにさがせるようになりたいな。

はねがあったらいいのにな

仙田小　一年　金子　実寛

とんだよ、とんだー。
ぼくが、とんだよ。
うそみたい。
でも、
いいきもち。



千手小　1年　柄沢 洋輔

なんだか、
とりになったきぶんがするよ。
わあ、
あれが、山だ。
あれが、たんぼだ。
あれが、せんだだ。
しゃしんみたいに、きれいだな。
ぼく、はねがあったらいいのにな。
そしたら、
そらからまほうをかけて、
もっときれいにしてやるぞ。

みどりがいっぱい

上野小　二年　小川　千春

わたしは、どきどきしました。そしてみんながシートベルトをしたらヘリコプターがふわりとういて、とびました。

いろいろな町が見えました。新町とかいろいろ見えました。ヘリコプターがまがったときは、こわかったです。音はすごく大きい音でした。ヘリコプターにのっていて下を見ると、みんな小さくておもちゃみたいに見えました。小さくてとてもおもしろかったです。

わたしが、「すごくたかいね。」と言ったら、男の子のだれかが「車がミニカーみたいだぞ。」と言いました。みどりがきれいでゴミがすこしもないように見えました。お友だちのいえが見えなかったけど、ヘリコプターにのっていろいろなものが見えてよかったです。

またこんどのりたいと思います。いい思いでができてうれしかったです。

はじめて乗ったヘリコプター

橘小　三年　池竹　祐子

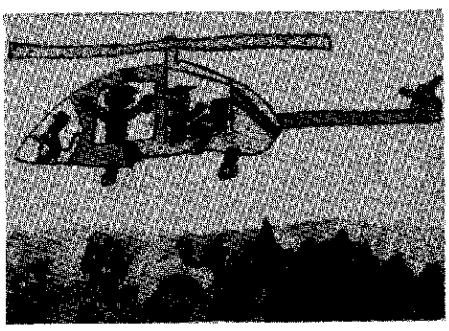
おじさんと手をつないでヘリコプターの所に行きました。プロペラが、ガタガタ音をたてていました。わたしは、みな子さんに、「うるさいね。」と言いました。

ドアをしめました。ヘリコプターが空高くうきました。みな子さんがすわっている方のまどからは、家が小さく見えました。みな子さんが、「田んぼがしばふみたいだね。」と言いました。

原田の方に行きました。わたしは、ぶた小屋や丸やすは分かったけど、自分の家が見えませんでした。さき子さんが、「池竹さんちが見えた。」と言いました。

みな子さんが、「中学校」と言いました。わたしはずっと中学校を見ていました。〈ひろみがいるかな〉と思って見ていました。でも、だれもいません。しなの川を見ていたら、二つに分かれている所もありました。道ろを見たら、人が歩いていました。だれかが、「人が歩いてる。」と言いました。じょしゅせきにすわっているおじさんが、「お姉ちゃんが手をふってる。」と言いました。みな子さんが、「何か、作り物みたいだね。」と言いました。わたしは、〈そういえばそうだな〉と思いました。

着りくする時、草がおどっているようでした。もう一度乗って、しぶみ川や仙田、白倉のしゅう落も見たいです。



上野小　2年　清水　拓

ヘリコプターに乗って

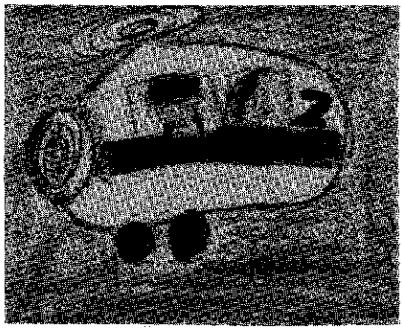
白倉小　三年　片桐八千代

ヘリコプターに乗って
下を見てみると
見たことのある風けいだなと
思ったら
そこは白倉だった
下を見ると人がいた
とっても小さく見えた
ありみたいに小さく小さく見
えた
自分のうちをさがしていたら
ほかの人のうちが見えた
千手に行くとちゅうに
いっぱい田んぼが見えた
ヘリコプターに乗って
また下を見ると
見たこともない風けいが見え
て
うわー
きれいだなー
と思った
千手の家をみてくと
赤いやねのうちがおおかった

ヘリコプターにのって

仙田小　二年　小林加代子

「パタ、パタ。」「ピュー、ピュー。」すごい音と風がふいてきます。



千手小　1年　北村果澄

ヘリコプターにのるとき、プロペラの風にとばされないように、みんなで、手をつないでのりました。シートベルトをしました。とびたつまで、ドキドキしました。フワッと空にうかんだとき、「うわーっ。」とさけんでしまいました。でも、すぐになれました。下のけしきがきれいな、おもちゃみたいで、とても、おもしろかったです。

空からみると、田んぼも山も、同じみどり色にみえます。わたしの学校もみえました。学校がもっと大きければ、もっとよくみえました。わたしのうちもみえました。どこのおとうさんかわからないけど、手をふっていました。もっとヘリコプターにのって、おばあちゃんがにゅういんしている、おじやびょういんの上まで、いきたいなあとおもいました。でも、とってもおもしろかったです。また、乗ってみたいです。

すばらしいものをいっぱいみせてもらってうれしかったです。ちょうちょうさんありがとうございました。たのしかった、ゆめふらいと。

はじめてヘリコプターにのった

仙田小　二年　高橋宏美

九月三日に、ヘリコプターに、のりました。「バタバタ」という音が、きこえてうるさかったです。それで友だちのこえが、きこえませんでした。すごい風もふいてきました。シートベルトをしめると、ヘリコプターは、ふわっとうかびあがりました。下にいる人が、ロボットに見えました。空からながめる山は、きれいなんだなあと思いました。

川西中学校や、そうごうたいいくかんが、見えましたあんなに大きなたてものが、小さく見えるのが、ふしぎでした。みどりの山をこえると、むろじまが、みえてきました。もう少しで仙田がみえると思っているうちに、仙田小学校が見えました。プールが、青くひかって見えます。あのプールをもっと大きくして、おもいっきりおよいでみたいです。

すこしいったところでわたしのおうちが見えてきました。もっとわたしのうちを大きくしたいです。また山が見えてきました。みどりの木につつまれた山が、どこまでもどこまでもつづいています。とてもきれいでした。また、ヘリコプターにのりたいです。

未来の川西町

仙田小　三年　丸山良亮

ゆめフライトで川西町を空から見ました。はじめてのヘリコプターで、ドキドキしながら見てみると、まるでおもちゃのようでした。家が小さくて小人のうちのようだったし、自てん車もうそのように小さかったです。でも町全体は、ぼくが考えていたより広かったです。それに、木や山があって緑につつまれた町でした。

ぼくは、川西町がもっといろんなものがあるにぎやかな町だといいなと思います。マンションがたくさんあって、もっと大ぜいの人がすんでいるといいと思います。人がふえると、遊んだり休んだりする場所もいるので、もっと大きな公園もあるといいと思います。きもだめしのできるたて物や、キャンプができる場所、それにプールもあると、たくさんの人が集まってきて、たのしめると思います。

上野小　2年　中島妙子

仙田小　1年　増田敬介

ぼくが、お父さんくらいのとしになったら、川西町は今より、たて物もふえていると思います。マンションだけでなくて、大きなデパートとかゲームセンター、パチンコ屋だってできているかもしれません。それに、たてものがふえるだけでなく仙田の田んぼも、みんなコンバインがらくらく入れるくらいの大きい田んぼになっているかもしれません。

どんな、にぎやかな町になるか、今から楽しみです。

歴史は語る <45>

ある青年会の記録 ⑩

岩瀬 金子幸作

大正と平成の奇縁

平成に入った日本は天皇のご即位を祝い、いっぽうで、コメの市場開放阻止や海外派兵の問題でゆれている。歴史はくりかえすというが、こうした世相や国際情勢は、大正初期のわが国によく似ていてドキッとする。

大正三年（一九一四）はヨーロッパの国々が戦乱に包まれ、わが国内においても「欧州出兵説」がうわさされ、また、米穀の保護が訴えられて、社会の風潮は必ずしも良好とはいえなかった。そのうえ、夏には昭憲皇太后がご逝去になり、六千万の国民は明治天皇の崩御に次ぐ悲しいできごとの喪に服す。

翌四年は、年が明けると悲嘆の思いを一掃し、秋のご大典に向けて祝賀の波がわきあがる。天皇ご即位の大礼をことほぎ、あまたの記念事業が行われて無窮の皇運が扶翼されるのである。

陽気祭に名士講演会

大正三年七月五日、仙田連合青年大会ヲ高倉校ニ於テ開催、本会ヨリ一〇名出席ス。議案ニ「渡満兵士」トアルヲ、以後ハ「現役兵士」ニ改訂ス。

かつての高倉小学校
（「高倉小学校のあゆみ」から転載）

来賓ノ講話ハ、登坂甚平赤岩校長ノ「青年ト遊ビ」、川越友吉田戸校長ノ「愛」ナル題ニテ興味深ク、有益ナ話ナリキ。

七月十二日、陽気祭ト定メ、村ヲ挙ゲテ休日トナル。本会ハ此日ヲ利用シテ村社、招魂社、学校ノ庭ヲ人念ニ清掃ス。

午後九時ヨリ名士ノ講演会ヲ白倉校ニ開ク。弁士トシテ片山中魚沼郡長、長沼十日町警察署長、相原郡書記、登坂仙田村長、星名中条村長、村山下船渡村長、大森北越新報記者、稲葉十日町新聞主筆登壇シテ有益ナル御話アリ。聴衆ハ立錐ノ余地ナク、盛会ヲ極メテ拾二時散会ス。

五分間演舌で熱弁

七月十九日、郡青年連合会ノ第五回総会ヲ十日町校ニ於テ開催、当会ヨリ三名出席ス。

議題ハ、補習教育ヲ奨励スル事、時計ヲ標準時ト一致セシムル事、ノ二件デ何レモ可決ス。

会員ノ五分間演舌ニ、川西郷ハ次ノ五君ガ熱弁ヲ振フ。

米穀保護は目下の急務なり（橘・田中直吉）益々共同の美風を発揮せよ（小白倉・江口郁治）野良の歌（千手町・田中広吉）国民の道徳と信用（田戸・押木正直）。

中魚沼郡青年会々則（抜）

第一条　本会ノ目的ハ、郡内各青年団体ノ気脈ヲ疎通シ、互ニ智識ヲ交換シ、協同親睦ノ美風ヲ涵養スルニアリ。

第二条　本会ハ町村各青年会員ヲ以テ組織ス。但シ表決権ヲ有スル者ハ各会一名トシ、会員三拾名ヲ増ス毎ニ一名ヲ加フ。

世界大戦おこる

ドイツ・オーストリア、イタリアの三国同盟と、イギリス・フランス・ロシアの三国協商が対立した背景で第一次世界大戦がおこる。大正三年七月に、オーストリアがセルビアに宣戦したことに端を発して戦禍は拡大し、わが国も、「東洋平和のため」と称してドイツと戦う。

八月二十三日に宣戦の大詔が渙発（かんぱつ）されると、川西郷の村々は各戸が日の丸を掲げ、集落ごとに、神社で戦勝の祈願を含めた宣戦奉告祭を執行する。

カチューシャの唄

九月三日、日独国交断絶ニ関スル宣戦詔勅ノ奉告祭ヲ行フ。午前ニ神官来村シ、氏神ニ戦勝ト国家ノ繁栄ヲ祈祷シタリ。午後ハ軍人団ノ主催ト青年会ノ援助ニヨリ、白倉校ニ於テ日独戦争ノ奉告式ヲ挙行ス。参列者一同最敬礼ヲシ、軍人団長ガ宣戦ノ詔書ヲ奉読、校長ト有志ガ時局ト国民ノ覚悟ニ附テ訓話ス。

式後、余興トシテ、仙田村教育会ヨリ借用シ来ル蓄音器ニ、のんきな父さん、ドンドン節、カチューシャの唄、唱歌、浪花節ノ音盤ヲ掛ケテ鳴ラス。子供衆ハ驚キノ目ヲ見ハリ、大人ハ耳ヲ傾ケテ機嫌ヲ覚マス。

青島（チンタオ）陥落に煙火

拾壱月二日、大小白倉ノ軍人区長ト青年ノ代表ヲ田中信一氏ガ白倉校ニ集メル。曰ク、「我軍ノ猛攻ニ依リ、近々中ニ青島（中国山東省のドイツ租借地）ガ陥落スル事ト思ハルル。其節ハ祝賀会ヲ如何ニ挙行スベキモノナル哉」ト申サルル。

参会者一同ハ、「祝賀会ハニケ字連合シテ行フ。若シ陥落セシ時ハ煙火三発ヲ打揚ゲテ村民ニ告ゲ、其夜ハ一同提灯行列ヲ行フベシ、其日ハ休業ノ事」ト答ヒ、全員異議ナク決定ス。

祝賀の提灯行列

勝利ノ報ヲ今カ今カト待チ居リシ所、七日午後二時ニ役場ヨリ公報アリ、「本日午前七時、我軍ノ大勝利ニテ青島ハ目出度陥落セリ、祝スベシ」トノ事ニテ直ニ煙火ヲ打揚グ。村民一同歓喜シテ帝国万歳ヲ叫ビ、青年ハ神社ヲ飾リ、日ノ暮レルヲ待チテ白倉校ノ祝賀式ニ参列ス。

祝賀式ハ、一同着席、学校長ノ陥落ノ辞及ビ祝辞、万歳三唱ノ順ニテ行ハレル。終ル哉、学校生徒ヲ先頭ニ青年・軍人・重立・区民一同ニテ小白倉神社ヲ参拝シ、大白倉神社ニ参拝ス。夫ヨリ万歳々々ノ提灯行列ニテ再ビ学校ニ引返シ、盛大ナル宴会ヲ催シテ勝利ヲ祝ヒケリ。

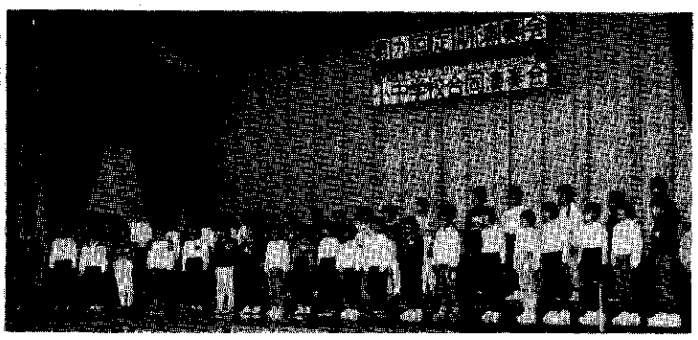
美しい音色をあなたに

十一月十八日、川西中体育館で、第九回川西中学校吹奏楽部定期演奏会と小・中学校合同演奏会が開かれ、集まった約四百人の観衆を魅了しました。

▲ 川西中吹奏楽部・川西高（OB）合同演奏，「士官候補生」ほか7曲を演奏

千手小特設音楽部
歌劇「セビリアの理髪師」序曲を演奏

橘小器楽部・「てんとう虫のサンバ」ほか一曲を演奏



上野小音楽部・「天使の羽のマーチ」ほか一曲を合唱

▲ 仙田小音楽部・6年生の「ずいずいずっころばし」

生涯学習シリーズ(7)

≪婦人と生涯学習≫

進む婦人の社会参加

近年、婦人の生活は大きく変化してきています。平均寿命が延びて人生八十年といわれるようになり、そのうえ子どもの数が少なくなったために、子育てを終えてからの期間が以前に比べてずっと長くなりました。

また、自由時間が増えたことや、学歴が高くなったことによって、社会参加に対する婦人の意欲は、かなりの高まりをみせています。

いま婦人たちは自己の能力や適性を生かし、仕事やボランティア活動などを通して充足感のある人生を歩み始めています。

そして、婦人の社会参加に対する意欲は、同時に生涯にわたって学習しようとする機運にもつながっているのです。

工夫のある生活を

しかし、お母さん方は、「仕事や家事などで忙しくて、とても学習などの時間がとれない。」と言われるかもしれません。でも、時間というものは自分から作るものです。待っていても過ぎていくだけです。

また、生涯学習とは、家をでて立派な先生について学ぶことや高度な趣味を身につけることだけを言うのではありません。直面している生活や日常の中に様々な生きがいを見いだし、発見する、または努力する、その工夫の仕方であると思います。家庭の事情などにより自由な時間を持っている方は少ないでしょう。現実に直面している自分を見つめ、しっかり耕す工夫が大切なのです。

町の公民館事業をはじめ、各種関係機関・団体では、学習の機会を提供しています。今まさに、賢いお母さん目指して・・・「お母さん、山番ですよ！」

図書室だより

家庭への読書のいざない

テレビや漫画に取りつかれ塾通いに追われて、本から逃げ出している現代っ子がみられます。

こんな子どもたちを、本の世界に引きもどすにはどうしたらよいのだろうか。全国図書館大会で発表された「家庭における読書へのいざない」を紹介してみます。

1、テレビと共存しながら利用を図る方法。

本を読むきっかけの調査でも、初めは、テレビや漫画からというのが以外と多い。テレビでみた「昔ばなし」や「西遊記」などから読書へいざなうことができる。NHK・大河ドラマの主人公の読書コーナーが盛況なのは、大人も同じである。

2、図書館を利用したり、本を買って与える方法。

子どもを連れて公共図書館で読みたい本を選ばせる。また、子どもの誕生日やクリスマスプレゼントに本を贈ってやる。このことが本を読むきっかけとなっているのが最も多い。たまには総合センターの図書室に子どもと一緒に出向いてみてください。

3、読みきかせや、図書紹介リストの利用方法。

この方法を利用している親は、読書会に入っていたり、読書に関心のある親が多く成果をあげている。このほか、身近かな学級文庫の利用や、友だちにすすめたい本の紹介が効果的である。

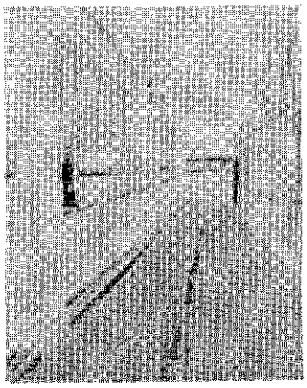
年末年始の交通事故防止運動

12月11日～1月10日

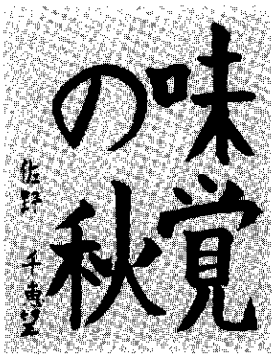
安全をみんなでつなごう
ゆく年くる年

ちいさな展覧会

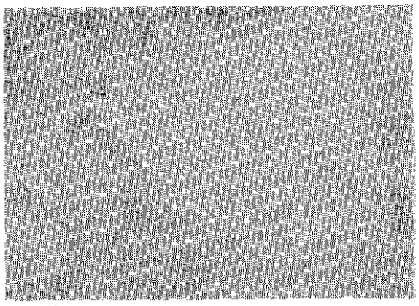
〈白倉小学校〉



6年　江口良太君

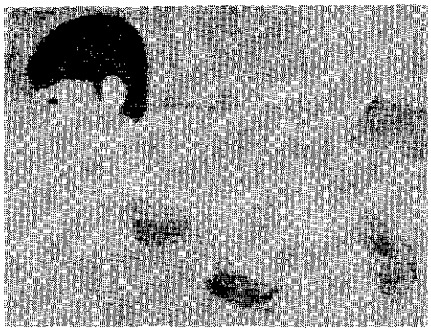


6年　佐野千恵望　さん



5年　江口　洋君

3年　田中恵梨香さん



3年　片桐八千代　さん

3年　桐生和久君

4年　中村光宏　君

3年　中村蔵幸　君

（1月号は
川西中学校です）

第20回 町民柔道大会 結果

12月2日
総合体育館柔道場
（敬称略）

決まるか背負い投げ

小学校低学年の部
一位　清水　望
二位　高橋克幸
三位　丸山健太郎

同中学年の部
一位　柳　昌光
二位　高橋　徹
三位　高橋俊博　柄沢健太
　　高橋　渉

同高学年の部
一位　星名力成
二位　山本章人
三位　川崎康平　丸山直樹
　　井上吉典

善意
（敬称略）

一般寄付

小林　英一（中屋敷）　十万円
新潟川西農協
　カーブミラー　十一基

広報発行に

山賀　規司（十日町市）　一万円
田村　善次（高原田）　一万円
西野　美枝（練馬区）　一万円

誤字や俗字は書き換えます
―新戸籍は正しい字で―

戸籍は、パスポートを受けるときや、相続登記をするときなど、いろいろなところで利用されています。

このように、戸籍は、身分関係を登録・公証する文書として重要なものですから、正しい文字で記載することが必要です。

しかし、戸籍の中には、氏名が誤字や俗字で記載されているものもあります。それで、官公署の窓口などでトラブルを生じ、社会生活上、不便をこうむっていられる方々もあるようです。

そこで、平成三年一月一日以降は、従来の戸籍に誤字・俗字で記載されている氏名を新しい戸籍に記載するときには、戸籍係で正しい字に書き換えることになります。

一　新しい戸籍には正しい字で記載します。

1　従来の戸籍に氏名が誤字・俗字で記載されている方で、次のようなときは、新しい戸籍に、正しい字で記載します。

・婚姻、転籍などで、新しく戸籍を作るとき
・養子縁組などで、他の戸籍へ入るとき

2　誤字・俗字を正しい字で記載するときには、届け出の際か、戸籍に記載した後に、その旨をお知らせします。

3　ただし、俗字のうち「髙」とか「嵜」など、一定の許容範囲の字は、本人の申し出がない限り、そのまま記載されます。

二　申し出によっても正しい字に訂正することができます。

現在の戸籍は、そのままでは正しい字に直りませんが、申し出があれば、いつでも戸籍に記載されている誤字・俗字を正しい字に訂正することができます。

三　申し出によってむずかしい字体を、やさしい字体に直すこともできます。

例えば、「邊」と旧字体で記載されており、ご不便を感じておられる方は、申し出れば、その字体に対応する新字体（通用字体）「辺」に更正することができます。

日ごろ戸籍は、むずかしいもの、面倒なものという先入観がおありかと思います。不明の点は住民課までご相談ください。

ふるさと役場のおかげで年金を有利に
練馬区　西野美枝さん（岩瀬出身）

いつも「広報かわにし」をお送りいただき、感謝しています。

八月の広報には、私のような者の通信を、大切な紙面に載せていただき、ほんとに申し訳なく赤面しております。ありがとうございました。

私は、ことし四月で六十歳となり、社会保険の手続きをしました。これも川西町役場のおかげです。昭和四十一年に貴町から、国民年金につなげた方が良い、というお知らせをいただきました。たった二年七カ月ばかりの厚生年金ですが、六月から受け取ることが出来ました。

その当時まだ、国民年金は任意制でしたので、新宿区役所で分からないなどと言われ困っていました。それで貴町役場の、お世話になったのが、今になって生きてきました。改めて、うれしく有り難いことと、心からお礼申し上げます。

同封のお金は、その一部です。福祉の一端にお役立ていただければ幸いです。

なえた手で書きました。読みにくいでしょうが、お許しください。

戸籍の窓から

昇天―ごめい福を祈る

五十川サト 62（弘　夫）栄　町
小林　敏男 65（本　人）中仙田
田口　義夫 73（本　人）木　落
羽鳥　亀治 75（剛　）木　落
小野塚ます 77（潔　）高原田
小林　英寿 81（英　一）中屋敷
佐藤　ノイ 86（利　雄）高原田
宮　　幸 92（啓　一）山野田

たかさご―ご円満に

（平野　一幸　四郎兼
村山礼子　十日町市から
（江口正志　小白倉
田中克子　小白倉から
（清水幸雄　木　島
木村尚子　室島から
（入沢　昇　上　野
保坂恵子　十日町市から
（清水　悟　寺　尾
三宅裕美　十日町市から
（阿部謙一　木　島
登坂光枝　岩瀬から

（数藤勝夫　沖　立
村山節子　十日町市から

うぶ声―おすこやかに

相崎美耶子（みやこ）芳則　三女　下平新田
久美子
井川　泰孝（やすたか）一弘　長男　新町新田
和子
小林　伶果（れいか）秀俊　長女　木　島
敦子
星名　里香（りか）宣男　長女　霜　条
千寿子
市川ひかる　伸
民子　長女　栄　町

かわにし俳壇

太田白南風選

○ぶな林落葉しつくし幹白し
○酢漬する小蕪の肌の白さかな
　小白倉　江口みゆき
○冬ざるゝ高原の駅人ぬくし
　練馬区　須藤　遊人
○紅葉浮く露天の風呂に友と在り
　小脇　佐藤　信一
○日当りの崖に崩るゝ霜柱
　高倉　斎木　和人
○鉄塔を峰につらねて山眠る
　岩瀬　登坂伊智子
○小豆二斗売りて長靴買いにけり
　中仙田　高橋　杉枝
○出稼ぎの近付き囲い忙しく
　板橋区　田中　優美
○きじの鳴くこの裏山が好きなれば
　上野　内山　寛平

日を受けて銀杏黄葉の明るさよ
　仁田　小幡しん女
小松菜のひしめき合いし貝割菜
　八王子市　松浦　サク
晩秋の多摩の御陵の杉木立
　厚木市　川崎　保一
奥宮は百番札所篤紅葉
　岩瀬　小川　益栄
木の葉ちる掃き寄せてまだ定まらず
　足立区　駒形　頼太
大根のしわ柔らかく干し上がる
　大倉　中条　石平
鴨打の銃声ひびく今朝の晴
　木落　丸山鉄四郎
実の赤く白き山茶花引立ちぬ
　八王子市　田中　ひさ
どうだんに縄きりきりと雪囲
　上町　高橋　願似
友からの便り身にしむ冷雨の夜
　上野　渡辺　朝
幾度も寝返りを打ち夜の長き
　緒条　大海　白涛

厳かに御即位の礼菊薫る
　浦和市　登坂　博史
南天の実の赤々と雪を待つ
　霜条　星名　星光
行くほどに落葉の深き道なりし
　伊勢原市　金子　柱吉
七五三祝小豆の飯のやわらかき
　野口　野沢　寅生
暖冬のつつじむらさき返り花
　上野　入沢　はや
小春日を背中に浴びて豆落す
　野口　村越　幸
赤い羽根つけ看護婦の白き服
　元町　金子　鉄平
燃ただし点字百年よむ夜長
　中屋敷　数藤　壮一
さわやかに古稀を迎えつ友も増し
　新町　井川　亘
あちこちに野沢菜洗い冬仕度
　発電所通り　春日　ぶん
家事の手を休めし菊の即位礼
　上野　星名　春子

新年俳句募集

12月25日必着

◎題　仕事始・初仕事
　新年に始めてする仕事を言う。
　新年雑詠
◎はがき一枚に五句以内
◎町内名、氏名を明記（雅号の人は本名も）
◎役場内・文書広報係か
　中央町・太田白南風あて
◎入賞者には、記念品贈呈

高倉の斎木さんら十四人に俳壇奨励賞

第三回本紙俳壇奨励賞受賞者は、次の方がたに決まりました。一年間一回も休まずご投稿（入選）されたみなさんです。

〈順不同、敬称略〉

駒形　頼太（足立区）
中条　石平（大　倉）
佐藤　信一（小　脇）
登坂伊智子（岩　瀬）
野沢　寅生（野　口）
江口みゆき（小白倉）
登坂　博史（浦和市）
村越　　幸（野　口）
田中　ひさ（八王子市）
数藤　壮一（中屋敷）
斎木　和人（高　倉）
金子　鉄平（元　町）
松浦　サク（八王子市）
高橋　願似（上　町）

おわび

十一月号で、次の個所がそれぞれまちがっていました。訂正します。

〈三ページ〉
チャリティーバザーの写真説明で、保坂社協事務局長の職名が社教となっていました。

〈六ページ〉
フライト事業コンクール入賞者の中で、仙田小学校一年増田敬介君の名前が啓介となっていました。また川西中学校一年桐生千恵さんの学年が、二年になっていました。

〈七ページ〉
体協功労者表彰の本文中、清水京平さん（上町）の町内名が、上野となっていました。また、村越繁正さんの姓が村山に、相崎伸幸君（田中町）の町内名が、水口沢になっていました。